

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎
TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
さて、この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
何卒、ご利用、ご用命の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

● 新規受託項目:

■ L/H比
(LDLコレステロール／HDLコレステロール比)

※ 上記項目をご依頼のさいは【LDLコレステロール】【HDLコレステロール】のご依頼が必須となります

◆ 受託開始期日:平成 28 年 2 月 1 日(月)受付分より

※詳細につきましては裏面をご参照ください

ご不明な点は弊社担当までお申し付け下さい

■ L/H 比 (LDLコレステロール/HDLコレステロール比)

2007年の動脈硬化性疾患予防ガイドラインの改定により、動脈硬化性疾患のリスク評価の指標として、TC(総コレステロール)に替ってLDLコレステロール(LDL-C)が直接測定されるようになり、最近はLDLコレステロール/HDLコレステロール比が新たな動脈硬化指数として注目されています。

特に、メタボリック症候群や糖尿病の患者では高中性脂肪と低HDLコレステロールがあり、small dense LDLとなるためLDLコレステロールが高値とならないことが多く、またHDLコレステロールとLDLコレステロールのバランスによって動脈硬化の進展(プラーク形成)が相関することからL/H比は有用な指標とされています。動脈硬化の進展抑制・退縮を目的としたL/H比の管理目標値は、将来の冠動脈疾患の発症を予防する場合(一次予防)では2.0以下、冠動脈疾患の既往がある場合(二次予防)では1.5以下が推奨されています。

◆ 検査内容:

検査項目名	L/H比
採取容器	分離剤入り採血管
検体必要量	血清 0.3mL
保存方法	血清冷蔵
所要日数	1~2日(FAXにて当日報告可能)
参考基準値	なし(下記、L/H比管理目標をご参照下さい)
単位	なし
実施料 / 判断料	未保点 (LDLコレステロール 18点、HDLコレステロール 17点判断料:生化学(I)144点での算定となります)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ご依頼のさいは、総合検査依頼書【追加・削除】項目欄に項目名【L/H比】をご記入下さい ・LDLコレステロール、HDLコレステロールのご依頼が必須となりますので予めご了承ください

◆ L/H比管理目標

L/H比	血管内の状態
1.5以下	きれいで健康な状態
2.0以上	コレステロールの蓄積が増え、動脈硬化が疑われる
2.5以上	血栓ができている可能性や、心筋梗塞のリスクも高まる

※ L/H比=LDLコレステロール÷HDLコレステロール

※ LH比が2.0を超えると血管内のコレステロールの蓄積が増えて動脈硬化が疑われ、2.5を超えると血栓ができている可能性があり、心筋梗塞のリスクも高いことが指摘されています。その反対にLH比が1.5以下では、血管内がきれいで健康な状態です。そこでLH比の目安として、「ほかに病気がない場合には2.0以下に」、また「高血圧や糖尿病がある場合、あるいは心筋梗塞などの前歴がある場合には1.5以下に」することが望ましいとする病院が増えていきます。